

1. 上田 道と川の駅 グランドデザイン策定の趣旨

上田道と川の駅グランドデザインは、「基本構想・基本計画・実施計画」で構成され、「理念」から「実施事業の骨格」までを示すもので、私たちの活動の基となる計画です。

■グランドデザイン策定の背景

高度成長期以降の社会変化の中で、私たちは便利さや快適性といった、ある意味での豊かさを手に入れました。しかし一方では地域にとっての新たな課題が生まれてきました。また、本来地域にとっては極々当たり前のことで、当たり前過ぎてその大切さに気付かない「もの」や「こと」を地域の宝として再確認すること、また、それらをどのように次世代に繋げていくかということも課題となっています。

それらの課題を解決していくには、まずは課題を整理し、利害関係者がその課題と解決の方法を共有し、それぞれの立場や役割を相互に補完し合いながら共に行動しなければなりません。また、地域の課題は地域の資源を活用し解決していくことが、地域づくりにとって大切なアプローチであることは言うまでもありません。

この上田道と川の駅グランドデザインは、地域住民により組織された団体として策定するものであり、地域の個性ある歴史や文化、私たちの営みと活力を基礎として、行政、大学、企業、関係機関・各種団体との連携のもと、私たちはこれから何をめざし、どこに向かうのか、また、次世代に誇れる地域を守り育てるためにはどのような活動が必要かなど、取り組むべき活動と地域の将来ビジョンを描いたものです。



■グランドデザイン策定の意義

グランドデザインの策定には、大きく分けて、以下の3つの意義があります。

①「地域づくり」を推進するために、利害関係者との連携と協働の具体的な取り組みと、その目的と目標を明確にすること。 ※ここでの利害関係者とは、環境の変化や地域での活動に関心がある又は影響を受けるすべての人たちのことを表しています。

②活動を行う動機づけとなる「理念」から、活動の基本的な「方針」「方向性」を明確にし、長期的な活動指針にすること。

③実施する事業のめあてを明確にすること。また、事業の効果・成果の評価する、基本的な基準になること。

2. グランドデザイン策定の方針

■策定の方法

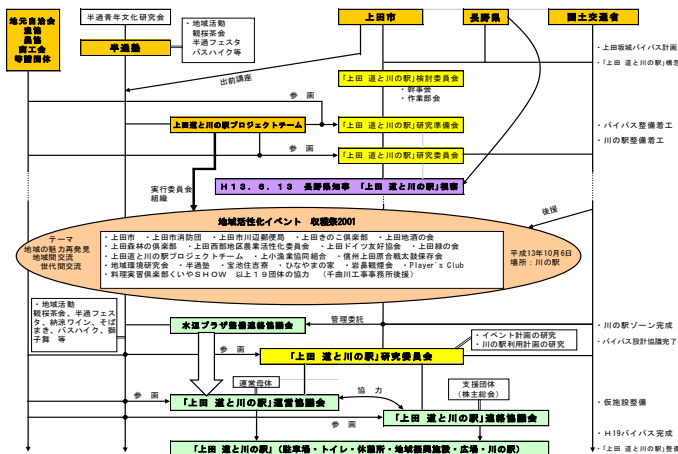
グランドデザインの策定にあたっては、①「策定委員会の設置」により策定する方法と、②「上田道と川の駅おとぎの里の運営と経営のトップが、組織を導く責任と使命を以て『長期ビジョン』を描く」方法があります。いずれにしても、活動の経過(連携と協働の成果やその過程での協議など)、また、来訪者アンケートの実施結果や日頃のお客様の声、構成団体や会員のおもいなども反映させることを基本としています。 将来の市況・社会動向を嗅ぎ分ける嗅覚がポイント。

■グランドデザインの施行

「グランドデザイン」は、上田道と川の駅おとぎの里の構成団体の代表者などで組織する、役員会で審議され、総会の決議を受けて施行されます。

3. グランドデザインの期間

デザインの期間としては、概ね20年後を見据えた長期的視野に基づいて、施行の年から10年間程度としていますが、取り巻く環境の著しい変化や、その他目的達成のために迅速に対応しなければならない場合などには、期間中であっても見直しを行います。



平成10年に制作した長期構想(「第一期」として)は、平成13年の突然の計画頓挫を受け、変更せざるを得ない状況となりました。

平成14年からの構想(「第二期」として)は、道の駅施設が一定の整備を完了し、住民主体の運営が開始されるまでとしました。

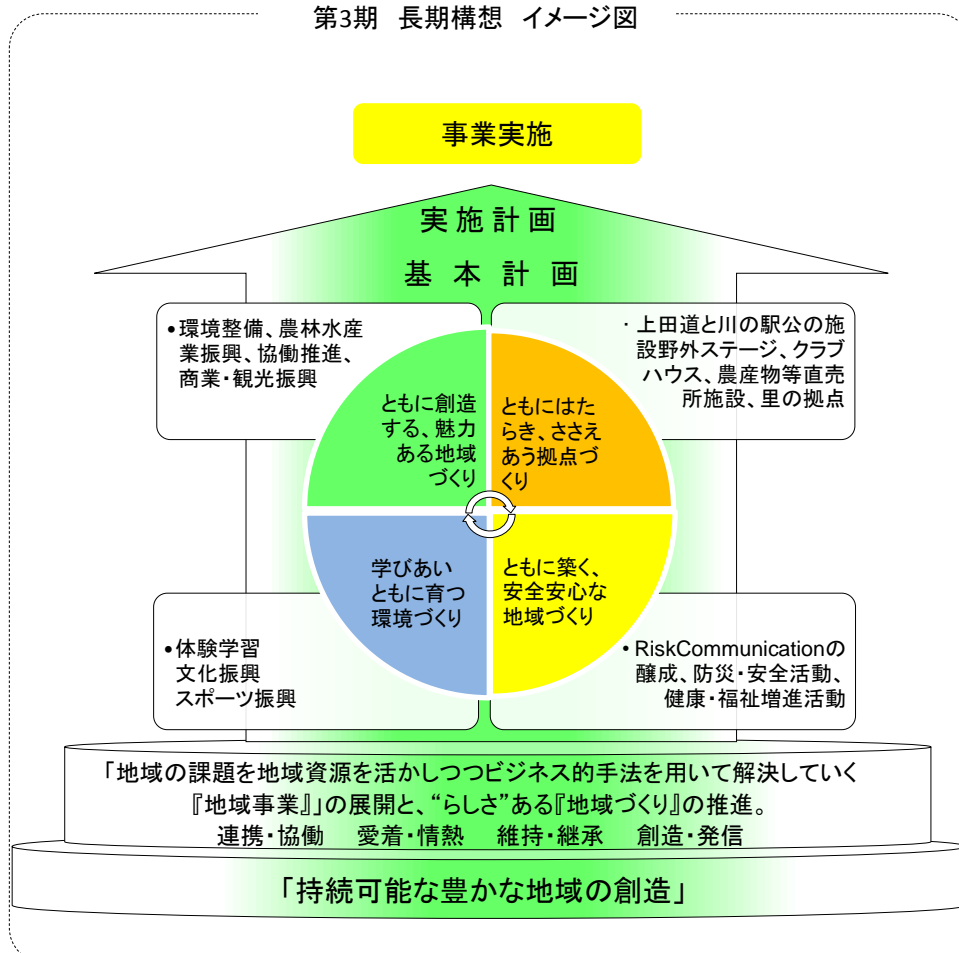
平成22年の施設供用開始から概ね10年間(平成31年程度)を「第三期長期構想」としては、この「改定:第三期グランドデザイン」は、平成27年度からの指定管理移行をうけ平成26年度末に改定したものです。

第2期 長期構想図

この第3期グランドデザインは、第4期グランドデザインの策定にあたり、その考え方や方法などの基礎にすることを想定し作成しました。※第4期に向けての見直し時期…平成29年度

長期構想の基本期間	第3期 長期構想	平成26年度 見直し	平成29年度 見直し
基本構想 10年毎見直し	平成22年～平成31年	(期間見直し)	～平成29年 (内容見直し)
基本計画 5年毎見直し	平成22年～平成26年 (5年間)	(期間見直し)	～平成29年 (内容見直し)
実施計画 3年毎見直し	平成22年～3年間 平成25年～2年間	(期間・内容見直し)	平成27年～3年間 (内容見直し)

第3期 長期構想 イメージ図



構想～事業実施の流れ

事業実施

実施計画

基本計画

基本構想

主要プログラ

基本方針

基本理念